

LIVE
レポート
REPORT

SMBC日興IRフォーラム2019

2337

いちご



いちご



代表執行役社長
長谷川 拓磨 氏



豊かな暮らしを支えるサステナブルインフラのいちご

「心築(しんちく)」が強み

● 会社概要

- 東証一部(2337)
- 2016年8月以降「JPX日経インデックス400」構成銘柄に4期連続選定
- 前期(2019年2月期)は過去最高益を更新

● サステナブルインフラのいちご

- 社名は一期一会に由来
「人との出会いを大切に」の精神が理念
- 経営理念(Mission)
「日本を世界一豊かに。
その未来へ心を尽くす一期一会のいちご」
- コア事業
リート等を運用する「アセットマネジメント」
現存不動産に新たな価値を創造する「心築(しんちく)」
環境に優しい「クリーンエネルギー」
- 累積運用資産残高は1.8兆円以上
- リーグトップパートナーに2019年シーズンより就任
- 世界を目指すアスリートの社員雇用等、スポーツ支援、
社会福祉活動にも注力

業績予想・配当政策

● 2020年2月期業績・配当予想

- 営業利益予想 265億円
- 一株当たり配当予想 7円

● 株主還元方針

- 原則減配なし、安心安定配当の「累進的配当政策」
- 株主資本配当率(DOE)3%以上

● 機動的な自社株買い

- 今期、取得価額総額30億円(平均取得株価424円)

● 強固なガバナンス

- 委員会設置会社(現指名委員会等設置会社)への早期移行(2006年)
- 指名・監査・報酬委員会に加え、任意コンプライアンス委員会設置
- 取締役9名のうち5名が社外役員、全員が独立役員
- 東証一部上場企業の社長経験者を社外取締役に招聘

長期VISION「いちご2030」

● 「サステナブルインフラ企業」として大きな成長を目指す

- 「人・企業」を主役に、多様化するニーズに対応
- 「ハード・インフラ」と「ソフト・インフラ」の融合
不動産をインフラと捉え、人々の生活に目を向け、
より豊かな暮らしを支援
(不動産×スポーツ、AI、ホテル運営、農業、アニメ、
ゲーム等)

● 経営目標(KPI)

- ROE(自己資本利益率)期間平均15%以上
- 「JPX日経インデックス400」11年間継続の組み入れ
- エコノミック営業キャッシュフロー11年間継続の当期
純利益超過
- ストック収益比率60%以上(2030年2月期)
- 累進的配当政策、DOE3%以上、機動的な自社株買い

いちご運用の3上場投資法人

● いちごオフィス(8975)

- 上場日 2005年10月12日
- 資産規模 2032億円(85物件)
- 利回り 3.7%(2019年12月2日現在)
- 安定的かつ収益成長が見込める中規模オフィスビルに投資
- 安定した分配金の成長(18期連続増配実績)

● いちごホテル(3463)

- 上場日 2015年11月30日
- 資産規模 509億円(22ホテル)
- 利回り 5.7%(2019年12月2日現在)
- 利益率が高く収益安定性も高い「宿泊主体・特化型ホテル」に投資

● いちごグリーン(9282)

- 上場日 2016年12月1日
- 資産規模 114億円(15発電所)
- 利回り 5.6%(2019年12月2日現在)
- 地球に優しく安全性が抜群、わが国のエネルギー
自給に寄与